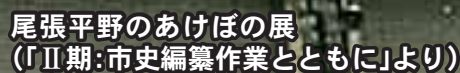
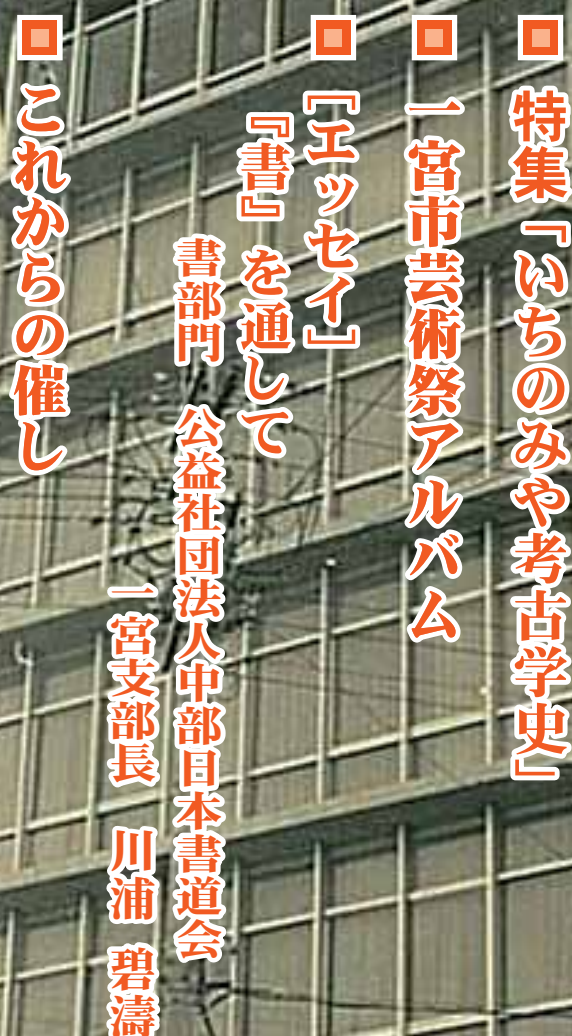


ICHINOMIYA Arts and Culture Association



一宮市芸術文化協会

第54号



■ 特集「いちのみや考古学史」

■ 一宮市芸術祭アルバム

■ 「エッセイ」

『書』を通して

書部門 公益社団法人中部日本書道会

一宮支部長 川浦 碧濤

■ これからの催し

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

いちのみや考古学史

考古学は、発掘調査によって得られた情報を分析・研究することで、人類の歴史を紐解いていく学問です。学問として確立したのは十八世紀末頃と比較的新しく、日本では明治時代にエドワード・モースが行った大森貝塚の発掘調査をきっかけに花ひらいていきます。

いちのみやの考古学のあゆみは、大正十五年（一九二六）七月に馬見塚遺跡で縄文時代の土器棺が発見されたことから始まりです。その歴史は三つの出来事を区切りに、0期～Ⅲ期の四つの時期に分けることができます。

0期：記録に残る遺跡・遺物の発見

まだ考古学という学問はないものの、江戸時代の文献史料などに遺跡や遺物の記述



▲0期：尾張名所図絵に残る浅井古墳群

が見られる時期です。今伊勢町にある車塚古墳が洪水によって崩れ、鏡や鉄製品が出土したことや、浅井町河田地区では古墳の土を掘り取っていたら石棺が出たことが記録として残されています。その他、明治時代以降も偶発的に古墳などから遺物の出土があったようです。

Ⅰ期：馬見塚遺跡の発見

大正十四年（一九二五）秋、浅野に住んでいた郷土史家・森徳一郎は、馬見塚の区長宅で大型の打製石斧を見せられます。それに大変興味を惹かれた森は、大正十五年七月二十四日、地元の人たちの協力のもと馬見塚地内で発掘を行い、多数の土器棺や石器など縄文時代の存在を示す遺物を多く発見しました。尾張平野には縄文時代は存在しないと言われていたため、馬見塚遺跡発見の報告は当時の日本考古学会に大きな波紋を呼びました。

昭和に入り、葉栗野古墳（浅井町河田）、長福寺廃寺（千秋町）、上町屋古墳（今伊勢町）などの発掘が行われ、いちのみやの考古学は黎明期を迎えます。



▲Ⅰ期：馬見塚遺跡で発見された土器棺

Ⅱ期：市史編纂作業とともに

昭和三十五年（一九六〇）には市史編纂室が発足し、発掘調査はますます盛んになっていきます。昭和三十三年から三十五年に実施された浅井古墳群の発掘調査を始め、尾張病院山中遺跡（萩原町・大和町）、元屋敷遺跡（丹陽町）、馬見塚遺跡F地点など東海地方の歴史を考える上で重要な遺跡が次々と明らかになりました。発掘調査の成果は『新編一宮市史』にまとめられ、発表されました。また在野では昭和三十八年に一宮考古学会が発足し、昭和四十七年一月には「尾張平野のあけぼの」展（表紙写真）が名鉄丸栄百貨店（当時。現在は閉店）で開催され、多くの人が訪れるなど、考古学の機運が盛り上がってきました。



▶ Ⅱ期：岩塚古墳（浅井古墳群）発掘風景

Ⅲ期：博物館の開館、そして現在

『新編一宮市史』発刊の集大成として計画された博物館は、昭和六十二年（一九八七）十一月に開館しました。博物館の開館と同時期に、愛知県が主体で行った東海北陸自動車道建設に伴う発掘調査は数千㎡から数万㎡という大規模なものが多く、八王子遺跡（大和町荻安賀）をはじめ一宮市の歴史の新たな側面を見せるような大きな成果を得ることができました。

博物館開館後は、博物館が文化財保護業務を兼任しました。業務の一環として発掘調査があり、直近では平成三十年、令和元年に行った福塚前遺跡（今伊勢町馬寄）の発掘調査があげられます。この調査の速報成果は、令和二年十一月二十八日（土）～十二月二十七日（日）に開催した特別展「発掘された日本列島二〇二〇」の地域展として紹介しました。福塚前遺跡は現在報告書の発刊に向けて、整理・分析を進めています。今後もしちのみやの考古学から目が離せません。

（一宮市博物館 学芸員 瀧はる香）

■参考文献

一宮市博物館 二〇〇三

『一宮の考古学のおゆみ八〇年』



▶ Ⅲ期：福塚前遺跡
（写真左が北。
南北に196m、東西に10m）

5回 芸術祭

「第75回 一宮市芸術祭」を
9月～12月に市内各所で開催しました。
新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、
期間中には22行事開催され、約420名の方が
参加され、6,000名を超える方が来場されました。

音楽部

第36回一面会 能・狂言面作品展



11月12日(木)～15日(日)
アイプラザー宮

第10回雅楽フェスティバル



12月10日(木)～
YouTubeでの動画配信

水絵の会展



11月17日(火)～23日(月・祝)
三岸節子記念美術館

尾西ウィンドオーケストラファミリーコンサート



12月13日(日)
尾西生涯学習センター

ガリバンバン水彩画展



12月1日(火)～6日(日)
三岸節子記念美術館

クリスマスコンサート



12月20日(日)
尾西市民会館

一宮市

文学部

俳句大会



11月3日(火・祝)
一宮スポーツ文化センター

市民短歌大会



11月8日(日)
一宮スポーツ文化センター

美術部

水彩画アクア展



11月10日(火)～15日(日)
三岸節子記念美術館

愛知県文化協会連合会の

催し(報告)

愛知県文連美術展

9月24日(木)～27日(日)、愛知芸術文化センター8階愛知県美術館ギャラリーを会場に、第45回愛知県文連美術展が開催されました。

本協会からは16名の方が出品され、高木みどりさん(洋画部門)が特選、浅井和洋子さん(洋画部門)が奨励賞に選ばれました。

県文連45周年記念文芸誌

12月25日(金)、県文連45周年記念文芸誌が発行されました。

本協会からは111名の方が投稿されました。



●愛知県民茶会

●愛知県文連西尾張部芸能大会
いずれも今年度は開催中止となりました。

『書』を通して

書部門 公益社団法人中部日本書道会 一宮支部長 川浦 碧濤 へきとう

「国語は、その国の文化の象徴といわれる程、重要であり且つ大切なもの」と、ある文化人が著書にも記しています。

現在、国語科の科目中での書写、所謂「習字」の授業をどなたも小中学校時に経験されています。高等学校では芸術科の教科の一つである「書道」を選択され、その延長線上での『書』という事でしょうか。

ここで、表題の件について私事で恐縮ですが、今年華甲に当たりまして思い思いにペンを走らせて参ります。ご容赦ください。

幼少期ですが、ふと感激・感動した物事を襖・障子・すりガラス等々、ありとあらゆる箇所へ自由奔放に描きまくっておりました。家族は放任主義だったのか？時に人が集まる事前にその跡を整備して、いつも笑顔で向き合ってくれていました。学生時代は、唯、書くという行為が大好きでした。が、其の表現作で褒美を貰った経験は

無かったように記憶しています。師匠、亀山雪峰先生との出会いは、高校一年生書道科授業です。四十五年に亘りお世話になっており、書道芸術はもとより美感や物事の捉え方等、様々な面を多く御教導を賜り感化を受けて、絶えず学ぶ事の大切さを授けていただいています。



亀山雪峰先生著書
郷土文化人叢書

書道を取り巻く環境では、様々な方との出会いがあります。先輩諸賢をはじめ、書道愛好家の皆様、仕事の関係各所より懐かしい恩師や旧友との再会も。さて、書作品表現の発表の場面に至るまでには色々な角度・尺度から捉え方は有ります。が、特に印象に残っているのは高校三年生当時二尺・八尺〔60×240〕縦五行ものの隷書で市美術展初出品展示を頂いた事です。また当時の解説の先生からお言葉を頂いた、その歓び感動は忘れることはありません。

コロナ禍の現況下においては、先行き不透明ですが、膨大で計り知れない『書』の専門内容を少しでも学びつつ、己自身が感性を磨き、修練を積み重ねて、継続して行く事が出来る斯道に感謝をしつつ、感動できる言葉・表現等により多く出合えるよう研鑽して行く所存です。

また『書』の魅力、良さを多くの皆様へアピール活動の仕事をさせてもらい乍らも、定義難解極まる「美」、「書芸」を追究出来る一生幸せ者であることを一心に、これからも更に一層楽しんで参りたく、どうぞ宜しくお願いいたします。



黙 識 論語より
浅井公民館展示



千字文一節
(平成31年1月制作)



「童」

岩田 潤流

(初心者歓迎)
参加料▼無料
申込み▼初参加の方は開催日の5
日前までに電話で生涯学
習課(☎85-7074)

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼4月6日(火)・5月4日(祝)

6月1日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。(初心者歓迎)

参加料▼年3、000円

申込み▼当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼4月10日(土)・5月8日(土)

6月12日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼4月11日(日)・5月9日(日)

6月13日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の5

日前までに電話で生涯学

習課(☎85-7074)

『尾西ウィンドオーケストラ 第87回定期演奏会』

【問合せ先 尾西ウィンドオーケストラ】

☎(76)1161

日時▼6月20日(日) 午後2時〜

(開場は30分前)

会場▼尾西市民会館

内容▼オペラ名曲集ほか、楽しい曲を演奏します。

入場料▼一般500円

中学生以下無料

(要整理券)

一宮市
芸術文化協会
加入団体の
催し

『瀟聲會漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼3月27日(土)・4月24日(土)

5月22日(土)・6月26日(土)

午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方を
はじめ、作者の時代背景に

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(44)7598

日時▼3月28日(日)・4月25日(日)

5月23日(日)・6月27日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮
川柳社委員が指導します。

『サロンコンサート』

【問合せ先 一宮音楽家協会】

☎(057)28827

日時▼6月6日(日) 午前11時～
会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼市制一〇〇周年を祝して
演奏します。

入場料▼無料

※新型コロナウイルス感染症の
感染拡大防止のため、掲載し
ている催しや教室などは中止
・延期等になる場合があります。
開催状況は、問合せ先へ
お尋ねください。

催し中止のお知らせ

『一宮市民吹奏楽団』

レインボーコンサート2021』

今年度の開催中止



春の市民美術教室

対 象 ●市内在住・在勤・在学の方
申込み ●各教室の申込締め切り日までに
電話で生涯学習課 (☎0586-85-7074)

油絵『初心者からの油絵教室』

日時 ●5月14日～6月18日の金曜日
午前10時～正午 (6回)
会場 ●アイプラザ一宮
内容 ●女性モデルを描きながら、油絵の基礎を
学びます。
講師 ●大島麻琴さん (一宮美術作家協会)
定員 ●20名 (抽選)
受講料 ●4,000円 (教材費を含む)
申込締め切り日 ●4月15日(木)

写真『楽しく始める芸術写真』

日時 ●5月16日～6月6日の日曜日
午後1時30分～3時30分
(4回。5月30日は午前10時～正午)
会場 ●一宮スポーツ文化センターほか
内容 ●屋外での撮影会を交えながら、写真の基
礎を学びます。
講師 ●一宮写真協会 会員
定員 ●15名 (抽選)
受講料 ●1,000円 (実費も必要な場合あり)
申込締め切り日 ●4月16日(金)

書『楽しみま書 親しみま書』

日時 ●6月9日～7月14日の水曜日
午前9時30分～11時30分 (6回)
会場 ●一宮スポーツ文化センター
内容 ●美しい文字を書くための書道の基礎を学
びます。
講師 ●川浦碧濤さん (公益社団法人中部日本書
道会一宮支部長)
定員 ●15名 (抽選)
受講料 ●2,100円 (教材費を含む)
申込締め切り日 ●5月17日(月)

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の
活動情報を募集します。

掲載を希望される団体は、発行月3・6・8・12月の
前々月15日までに、

下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務
局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時
⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法
⑨その他必要事項

提出先 〒491-8501 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-73-9213

【題 字】武 山 翠 屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213